

新城市民病院での研修を振り返って

豊橋市民病院 研修医

今回、地域医療の研修ということで新城市民病院に一月間配属させていただきありがとうございました。正直なところ地域医療ということもあり、そこまで忙しい毎日を送るとは思ってもいませんでした。しかし、一般外来や救急外来でも多くの方が受診されており、新城市民病院は拠り所なんだなと感じました。新城市民病院は新城市だけでなく、豊根村や設楽町、東栄町までの地域に密接した医療をされており、先生方は本当に頼りにされているのだと思いました。医療も、検査だけでなく、身体所見や病歴を丁寧にとりそこから鑑別を上げ、必要な検査を施行していく。当たり前のことかもしれませんが、そんな当たり前のことを自然とできる先生方には本当に感動しました。朝のカンファレンスに始まり、振り返りや **uptodate** の発表など総合内科の志気を高め、常に高い質の医療を求めている姿を見て、こんなモチベーションの高い医師はかつこいいなと心から思いました。そして、研修医にも教育的でわからないことがあれば丁寧に教えてくださったり、一緒に調べていただいたり、自分のチープな考えにも耳を傾けて真剣に聞いてくださり、ただただ感謝しかありません。

また、今回の研修において地域医療を実感したことは看取りに関してです。3次救急を担っている病院ではあまり経験できないことだと思います。先生方やコメディカルの方々も忙しい中、看取りの患者たちを受け入れ、患者本人やその家族に気持ちよく死を受け入れる環境を作るその姿には感銘しました。本当の医療は、質の高い医療を提供するだけでなく環境も提供しなければならないと、新城市民病院をみて改めて感じました。

訪問看護、訪問リハビリ、介護老人保健施設等、いわゆる介護保険にて利用できるサービスについて実際にこの目で見て学ぶことができました。肉体的なサポートだけでなく、コミュニケーションをとりながら精神面でもサポートも行っており、実際に医療を支えているのはこのように患者に密接に関係しているコメディカルの方々なのかもしれないと、恥ずかしくなりました。自分の世界の狭さと医師としての覚悟のなさを感じ、大変勉強になりました。

この地域研修を終えて、自分がいかに医師として未熟なのか理解しました。しかし、先生方と出会えたことは今の自分、将来の自分にとってとても幸せなことでした。これからは、疾患だけでなく患者、その患者の家族を診ていこうと思います。一か月という短い間でしたが、この一か月間は私にとって、医師としての人生を歩む大きな一歩となりました。私は外科の道に進もうと思いますが、手術はもちろんエビデンスに基づいた内科的な治療もしっかり学んでいこうと思います。専門性も大事ですが、ジェネラルにもものを見られる先生方こそが本当の医師だと思います。

最後に新城市民病院の先生方、コメディカルの皆様、各部署の方々にお礼を述べさせていただき、地域実習の感想文とさせていただきます。